

一般社団法人日本旅行業協会 様

三重県防災対策部長 稲垣 司

伊勢志摩サミット対策として実施する緊急速報メール発信試験(訓練)周知等への協力について(依頼)

平素は、本県の防災・減災施策の推進にご協力賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本年5月26日から27日の2日間、本県の伊勢志摩地域において主要国首脳会議(伊勢志摩サミット)が開催されるため、三重県防災対策部においては、開催県としてサミットの安全・安心を高めるための様々な対策に取り組んでいるところです。

今回、この取組の一環として進めている南海トラフ地震対策として、熊野灘沖に国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)が設置している地震・津波観測監視システム(DONET)を活用し、伊勢志摩地域の住民や来訪者等の携帯電話やスマートフォンに津波の発生と高台への避難を促す緊急速報メールを発信するシステムを新たに整備しました。

つきましては、下記及び別添のリーフレットのとおりに、このシステムによる緊急速報メールの発信試験及びこれに連動した津波避難訓練を実施します。

貴協会におかれましては、当該地域を訪れる観光客のみなさまが、緊急速報メールを受信した際に慌てることなく冷静にご対応いただけるよう、会員への事前の周知や広報についてご協力いただきますようお願いいたします。

## 記

### 1. 緊急速報メールの発信試験について

#### (1)日 時

平成28年4月12日(火) 14時から14時10分の間に1回のみ発信

#### (2)対象地域

志摩市、伊勢市、鳥羽市、南伊勢町一帯

※これら市町に隣接する明和町、玉城町、度会町、大紀町の一部地区へもメールが届く場合があります。

#### (3)発信文面

##### ○標題

訓練メール(Drill)

##### ○本文

【訓練です】

三重県南部沖合で大きな津波を観測しました。至急高台など安全な場所に避難し、今後の情報に注意してください。津波警報等が発表されている間は海岸・河口付近へ近づかないでください。【訓練です】

**【This is a drill】**

A large tsunami has been detected. Evacuate immediately to high ground for safety.

2. 津波避難訓練について

上記の緊急速報メールの受信に合わせ、次の宿泊施設等で津波からの避難誘導訓練及び避難訓練を実施します。

<訓練実施施設>

- (1) 鳥羽市 : 戸田家 (鳥羽市鳥羽1丁目24-26)
- (2) 志摩市 : NEMU HOTEL&RESORT (志摩市浜島町迫子2692-3)
- (3) 南伊勢町 : いんぐらんど (度会郡南伊勢町神津佐1339-4) ※喫茶店

3. 気象警報等発表時の対応

当日、対象地域に、大雨警報、洪水警報、暴風警報等の気象警報が発表された場合は、緊急速報メール発信試験及び津波避難訓練を中止します。

なお、12日中に気象警報等が解除された場合、翌日の4月13日(水)に緊急速報メールの発信試験のみを同時刻(14時頃)に実施します。

事務担当

三重県防災対策部

防災企画・地域支援課

防災企画班 若林、森田

電話 059-224-2184 FAX 059-224-2199

Mail: bosai@pref.mie.jp

# 緊急速報メールの発信試験を 4月12日(火)に実施します。

三重県では、伊勢志摩サミットを契機に、DONET(地震・津波観測・監視システム)の観測情報を活用し、緊急速報メールで津波の発生を伝え、住民や観光客などに速やかな避難を呼びかけるシステムを導入します。  
この緊急速報メールの発信試験を下記のとおり実施します。

## 記

### 1. 実施日時

平成28年4月12日(火) 14時ごろ

### 2. 対象地域

志摩市、伊勢市、鳥羽市、南伊勢町一帯

※これら市町に隣接する、明和町、玉城町、度会町、大紀町の一部地域にもメールが届く場合があります。

### 3. 発信するメールの文面

#### ○タイトル

訓練メール(Drill)

#### ○本文

【訓練です】

三重県南部沖合で大きな津波を観測しました。至急高台など安全な場所に避難し、今後の情報に注意してください。津波警報等が発表されている間は海岸・河口付近へ近づかないでください。【訓練です】

【This is a drill】

A large tsunami has been detected. Evacuate immediately to high ground for safety.

## 【DONET(地震・津波観測監視システム)】

DONETは、高精度な地震計や津波の発生をとらえる水圧計などの観測装置を南海トラフ地震の震源近くの海底に20箇所設置して、全長約450kmのケーブルでつないだシステムで、国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)が開発しました。

このシステムで24時間、地震や津波の発生を監視し続けています。

